

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2022年 2月 5日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」修学院校

| | | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|----------|---|---|----|-----------|-----|--|
| 環境・体制整備 | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 2 | 2 | 2 | 個室を用いてスペースの確保をしているが狭いと感じる。椅子と机も不十分 |
| | ② | 職員の配置数は適切であるか | 6 | 0 | 0 | 教員や保育士など得意分野に偏ることなく幅広い療育を行っている。 |
| | ③ | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | 6 | 0 | 0 | 利用する児童に合わせて支援スペースの広さや配置を変えている。 |
| 業務改善 | ④ | 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか | 2 | 3 | 1 | 校舎ミーティングで利用者の情報共有の時間を設け職員で共有している。 |
| | ⑤ | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 6 | 0 | 0 | 児童が一人で来校・下校する児童には保護者様へ手紙だけでなく電話で伝えることを意識している。 |
| | ⑥ | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | 1 | 1 | 3 | 評価表に書かれていた保護者様からの意見を共有しているが、HP で公開していることを職員に周知できていない。 |
| | ⑦ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | 1 | 3 | 2 | 第三者というのが具体的に分かっておらず回答できない職員が多い。 |
| | ⑧ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 5 | 1 | 0 | ボランティアの事例検討会は参加メンバーが偏っている。 |
| | ⑨ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | 3 | 2 | 1 | タブレットを活用したアセスメントツールの活用が行えていない。 |
| 適切な支援の提供 | ⑩ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | 4 | 2 | 0 | アセスメントツールの内容が難しく保護者様から疑問を頂くことが多い。 |
| | ⑪ | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 2 | 1 | 3 | 週6 移行なども踏まえ担当外の指導員でも安定した療育が実施できるように活動プログラムを考えていく |
| | ⑫ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 4 | 2 | 0 | その時々の子どもの様子に応じて臨機応変に対応している。 |
| | ⑬ | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | 1 | 4 | 1 | 利用回数が増える場合は課題の日とクールダウンの日に分けるなど、その時々の子どもの様子に応じて臨機応変に対応している。 |
| | ⑭ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | 1 | 3 | 2 | 1対1の個別療育のため原則実施していないが、別の職員が入るなど集団にすることもある。 |
| | ⑮ | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 3 | 1 | 2 | 他の職員の協力が必要と考えられる利用者については必ず共有を行っている。 |

| | | | | | | |
|--------------------------|----|--|---|---|---|---|
| | ⑩⑥ | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 1 | 3 | 2 | 振り返り自体は翌日の校舎ミーティングで実施している。 |
| | ⑩⑦ | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 6 | 0 | 0 | 記録だけでなく校舎ミーティングで共有し他の職員からの助言・提案も参考に行っている。 |
| | ⑩⑧ | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | 4 | 1 | 1 | 半年に一回のモニタリングを実施し支援計画の見直しを行っている。 |
| | ⑩⑨ | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか | 4 | 0 | 2 | その時々状況に応じて支援内容を臨機応変に変更している。 |
| 関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携 | ⑩⑩ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 3 | 2 | 0 | 担当者会議だけでなく園訪問なども担当指導員が実施している。 |
| | ⑩⑪ | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか | 4 | 2 | 0 | 保護者から要望があった利用者については学校との連携を行っている。 |
| | ⑩⑫ | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | 0 | 1 | 5 | 該当者なし |
| | ⑩⑬ | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | 1 | 2 | 3 | 連携体制はあるが現時点までに実績なし |
| | ⑩⑭ | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | 1 | 4 | 0 | これまでに該当者なし |
| | ⑩⑮ | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | 4 | 0 | 2 | 市の児童発達支援センターの研修は受講している。 |
| | ⑩⑯ | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | 0 | 0 | 6 | 現状実施せず。 |
| | ⑩⑰ | （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか | 0 | 0 | 6 | 現状実施せず。 |
| | ⑩⑱ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 5 | 1 | 0 | 日々のFBの時間を大切にしている。 |
| | ⑩⑲ | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | 2 | 1 | 3 | 具体的なプログラムがないため各指導員に応じて異なる支援となる |
| 保護者へ | ⑩⑳ | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 4 | 2 | 0 | 全職員に実施していることの周知を行っていく |
| | ⑩㉑ | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 5 | 1 | 0 | 日々のFBや事業所内相談を実施し保護者様の悩みに寄り添っている。 |

| | | | | | | |
|---------------------------------|----|---|---|---|---|---|
| の 説 明 責 任 等 | ③② | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | 0 | 1 | 5 | 現在実施せず。 |
| | ③③ | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 6 | 0 | 0 | 保護者からの相談があり次第、児行訴内相談を実施、職員間で情報共有を行っている。 |
| | ③④ | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 0 | 2 | 4 | 会報は発行していないがHPでブログを掲示している。 |
| | ③⑤ | 個人情報に十分注意しているか | 6 | 0 | 0 | 今後も安心して利用して頂けるよう個人情報の取扱いに注意していく。 |
| | ③⑥ | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 6 | 0 | 0 | 児童の考えや行動の理由が分からないと悩む保護者に対して専門的見地から助言を行っている。 |
| 非 常 時 等 の 対 応 | ③⑦ | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | 0 | 0 | 6 | 現在実施せず。 |
| | ③⑧ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | 4 | 2 | 0 | 見学対応・契約時に保護者へ説明している。 |
| | ③⑨ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 5 | 1 | 0 | 毎月様々なシチュエーションで訓練を実施している。 |
| | ④⑩ | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 5 | 0 | 1 | 年に一回の研修を実施している。 |
| | ④⑪ | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | 4 | 2 | 0 | 契約時に必ず説明を行っている。 |
| | ④⑫ | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | 2 | 2 | 2 | 該当者なし。 |
| | ④⑬ | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 6 | 0 | 0 | 些細なケースでもヒヤリハット報告を作成・共有している。 |

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2022年 2月 5日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」修学院 校

保護者等数（児童数）：34 回収数：21 割合：62%

| | | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | ご意見、ご意見を踏まえた対応 |
|----------|---|--|----|-----------|-----|---|
| 環境・体制整備 | ① | 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか | 17 | 4 | | 個室利用の場合はローテーション表を作成し特定児童のみ個室を利用することを避けている。 |
| | ② | 職員の配置数や専門性は適切であるか | 21 | 0 | 0 | 教員や保育士など得意分野に偏ることなく幅広い療育を行っていく。 |
| | ③ | 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか | 21 | 0 | 0 | 利用する児童に合わせて支援スペースの広さや配置を変えていく。 |
| 適切な支援の提供 | ④ | 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか | 17 | 4 | | 利用したての方で分からないという意見があり、引き続き丁寧な説明を心がけていく。 |
| | ⑤ | 活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか | 17 | 4 | | その時々の子どもの様子に応じて臨機応変に対応している。 |
| | ⑥ | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | 0 | 6 | 15 | 現在実施せず。 |
| 保護者への説明等 | ⑦ | 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか | 21 | 0 | 0 | 引き続き丁寧な説明を心がける。 |
| | ⑧ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか | 18 | 3 | | 日々のFBの時間を大切にしている。今後もFBだけでなく事業所内相談などを活用し児童のより良い成長を考えていく。 |
| | ⑨ | 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか | 18 | 3 | | 保護者の来校が難しいケースの助言・支援方法を模索する必要がある。 |
| | ⑩ | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか | 3 | 6 | 10 | 現在実施せず。 |
| | ⑪ | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 15 | 6 | 0 | 保護者からの相談があり次第、見行訴内相談を実施、職員間で情報共有を行っている。今後も継続していく。 |
| | ⑫ | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか | 18 | 3 | 0 | 児童の考えや行動の理由が分からないと悩む保護者に対して専門的見地から助言を行っていく。 |
| | ⑬ | 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか | 11 | 7 | 3 | HPの存在自体周知できていないため周知していく。 |
| | ⑭ | 個人情報に十分注意しているか | 20 | 0 | 1 | 今後も安心して利用して頂けるよう個人情報管理の徹底を心がける。 |

| | | | | | | |
|---------|---|---|----|---|---|-----------------------------------|
| 非常時等の対応 | ⑮ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか | 17 | 4 | 0 | 保護者への周知が不足しているので、引き続き周知に努める。 |
| | ⑯ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか | 13 | 7 | 1 | ポスター掲示を行っているが掲示方法を変えるなど周知に努める。 |
| 満足度 | ⑰ | 子どもは通所を楽しみにしているか | 18 | 3 | 0 | 今後も安心・安全に楽しんで利用できるような環境づくりに留意していく |
| | ⑱ | 事業所の支援に満足しているか | 21 | 0 | 0 | 今後も安心・安全に楽しんで利用できるような環境づくりに留意していく |

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。